

## 令和4年度 学校図書館全体計画

### (1) 教育目標・教育理念

#### ①教育目標 「志の涵養」

知性と人間性にあふれる高い志をもった次代のリーダーとなる生徒を、6年間という時間をかけ、一貫した教育により丁寧に育てる。

※涵養…自然に水がしみこむように、少しずつ養い育てること。

#### ②教育理念「自立と互敬」

自立＝自分で考え、自分の意志で行動すること。

互敬＝互いの良さや持ち味を認め合い、尊重しあうこと。

### (2) 高めていく資質・能力

○学力、気力、体力を備え、妥協せず、自己を鍛え続けることができる。(自立)

○未来のことにも自分のやり方で挑戦し、未来の担い手としての自覚をもつ。(貢献)

○多くの人と触れ合い、共感し、人や社会との望ましいかかわり方を見出す。(共生)

### (3) 図書館教育の目標

○読書の意義を学び、図書に親しむ姿勢を育む。

○豊かな心と感性を養い、広い視野で物事を考える力を育成する。

○目的に合わせて情報を収集し、活用する力を育成する。

### (4) 運営方針・指導の重点

○1年から6年まで幅広い年代が利用するため、それぞれのニーズに合わせた配架・企画を行う。

○図書委員会と連携して、生徒の声を聞き、実態に応じた図書館づくりを行う。

○向学の間および心の安定を図る場としての環境づくりを心がける。

### (5) 各分野との連携

#### ①各教科

○生徒の興味・関心を引く入門的なものから、高度な調査・研究を基にした専門的なものまで幅広く資料を取りそろえることで、学習の深化の一助とする。

○大学入試の小論文や推薦入試に関連する書籍を幅広く取りそろえることで、それぞれの進路実現をサポートする。

#### ②総合・探求学習

○SDGs関連、および東京、沖縄、隠岐ノ島など、各学年で実施される校外学習に関する資料を取りそろえ、インターネットも含めた複数の資料から学ぶ環境を整える。

#### ③特別活動

○学級活動や生徒会活動を活性化させるために、様々な視点や取り組みを学べる資料をそろえる。

○学校行事の際に、図書委員会による活躍の場を設定することで、生徒主体の読書推進活動を実現する。

#### ④道徳

○多様な価値観に触れることを目的として、落ち着いて自己と向き合える書籍や環境を整える。